

教会での葬儀

—大切なその日のために—

保存版

日本福音ルーテル名古屋めぐみ教会

南区鳥栖1-15-32 TEL:052-821-3531 FAX:052-693-5131
n-megumi@triton.ocn.ne.jp http://jelc-nmch.sakura.ne.jp

— キリスト教の葬儀とは —

神様のひとり子イエス・キリストは、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。」といわれました。そして、ご自身が十字架に架けられ死に、三日目に復活なさいました。ですからクリスチャンの死は、「わたしたちの本国は天にあります。」という信仰によって、復活のイエス・キリストの命に与るものとして、この世を去って神様のみ元に迎えられる喜びに満ちています。

使徒パウロが、「わたしにとって、生きるとはキリストであり、死ぬことは利益なのです。」と語っているように、私たちの死は、イエス・キリストの救いによって、素晴らしい命への入り口となるものであり、その葬儀は、親しい者との別れという悲しみの中であっても、死は死で終わらないという平安と希望の内に、永遠の命を与えてくださる神様を礼拝し、その慰めを祈る場なのです。

信仰に生きる者として

自らの信仰に対する家族の理解、これは非常に大切です。家族が同じ信仰に生きていればよいのですが、自分一人が信仰を守っているような場合、それが十分でないと、葬儀を執り行う家族によって、召天者の信仰とは異なる宗教で葬儀が行われるというような事態が起り得ます。教会に用意してある「わたしの葬儀」を作成し、家族とともに保管するようにしましょう。なお、まだ信仰に導かれていない家族の葬儀を教会で行うような場合には、生前に洗礼(緊急洗礼等)を受けることが望ましいといえます。

葬儀を行なうことができる方

慶弔規則では、教会で葬儀を行うことができる方を、以下のように定め、いずれの場合も、牧師と役員会の承認が必要とされています。

1. 教会員
2. 1.の配偶者
3. 1.の一親等以内の親族
4. 上記以外の方

なお、2.3.4.に該当する場合は生前に洗礼を受けていることが望ましいとなっていますので、該当する場合は、出来る限り病床等での洗礼をお勧めします。また、1.には、他の教会への転籍者で、生前に当教会での葬儀を希望した方を含みます。

葬儀の感謝献金と費用

感謝献金として、前記1. 2. 3.の場合が50,000円以上、4.の場合が100,000円以上となります。加えて、牧師謝礼が30,000円、オルガニスト謝礼が10,000円、納骨室と教会墓の永代使用料が、前記1.の場合50,000円、2.3.の場合100,000円、4.の場合150,000円が必要となります。

これらの献金とは別に、葬儀社に支払う費用が必要となりますが、これは希望される祭壇等の種類によって異なります。当教会での葬儀経験が豊富な葬儀社をご紹介することもできますので、お気軽に牧師もしくは慶弔委員にご相談ください。

◎ まず、牧師に連絡を!! (教会固定) 052-821-3531

(牧師携帯)

召天 の 前後

危篤と召天

死亡診断書

火葬(埋葬)許可書

納棺と移送

危篤を告げられたら直ぐに牧師に連絡し、できるだけ意識のある内に安らかな召天を祈ってもらいましょう。たとえ間に合わなくても、み霊の平安を祈ります。医師に死亡診断書(死体検案書)を作成してもらい、役所に提出し火葬(埋葬)許可証の交付を受けます。葬儀社が決まっていない場合は、牧師から葬儀社に連絡し、病院や自宅などで遺体を清めるとともに着替えさせ、牧師の司式のもと、家族や親族の手で納棺(遺品は入れません)し、教会もしくは葬儀場に移送します。

葬儀 の 準備

牧師・慶弔委員・葬儀社との打合せ

葬儀では、短時間の内に多くの細かな決断を迫られて、特に喪主を務められる方は、心身ともに疲労を覚えることになります。そのようなみなさんに寄り添って葬儀の準備を進めるために、教会では牧師の指示のもと、慶弔委員が奉仕をさせていただきますので、どんなことでもお気軽にご相談ください。また、教会での葬儀経験が多い葬儀社で、キリスト教として相応しい祭壇飾りの用意もあります。なお、既に互助会に加入されている葬儀社や、教会以外の葬儀会場も利用できます。

前夜式 と 告別式

前夜式

告別式

火葬前式と収骨式

前夜式は牧師の司式で、讃美歌・祈り・聖書朗読・メッセージ・召天者の略歴紹介・献花の順で行われ、式後は遺族、親族ともに帰宅します。告別式は、讃美歌(召天者愛唱歌)・祈り・聖書朗読・略歴紹介・メッセージ・弔辞・弔電・献花の順で行われます。前夜式、告別式とも1時間程度の式となります。火葬場では、火葬前式(讃美歌・祈り・聖書朗読)と収骨式(祈りの後収骨)を行い、遺骨は、自宅で一カ月程、愛用の聖書、讃美歌、遺影、花等を一緒に飾った後、教会の納骨室に納めます。

納骨・埋葬 と 記念式

納骨式

記念式

墓前礼拝と教会墓への埋葬

遺骨を自宅で一カ月程置いた後、納骨式を行います。納骨に際しては、納骨及び埋葬申込書、埋葬許可証の原本、遺影(2Lサイズ)の提出と、納骨室と教会墓の永代使用料を納めます。また、遺族からのお申し出により、召天日等に記念式を行います。納骨室でのお預かりが20年を経過した召天者から、順次、毎年4月と11月に墓前礼拝を行って教会墓に埋葬し、納骨室に遺影と氏名を残すとともに、毎年11月の第一日曜日には、信仰の先達である召天者を覚え全聖徒主日礼拝を守ります。